＜先週の説教から＞

『黙示録 ６４―新しい都にて』

列王記上６：１５～２２ ヨハネの黙示録２１：１５～２７

黙示録２１章は、終末＝キリストの再臨の時に、最初に《新しい天と新しい地》が現れることを預言しています。そして次に、神様のもとを離れて、天から下って来る《聖なる都エルサレム》のことが記されています。神様の住まいが地へと降りて来ると。このこと自体、神様が居られる特別な場所＝聖域が私たちの元へと降り、明らかにされることを指します。

かつての都エルサレムは、厳重な城壁に囲まれ、その中心にはエルサレム神殿がありました。そこに入ることが出来る人も限られ、異邦人や女性や子供は神殿の中庭までしか入れませんでした。更に、ユダヤ人の男性でも神殿の中には入れず、祭司だけが中へ、しかも最も奥にある至聖所（＝内陣）には年に一度、大祭司だけが入れるだけでした。まさに聖域を厳密に定め、入れる人を極端に制限し、場所も狭く奥まらせ、その上で金で覆ったりして特殊化し、簡単には近づけないようにすることで威厳や権威を与えて、人々の信仰心を煽りました（＝『なにごとのおわしますかは知らねども かたじけなさに涙こぼるる』と西行法師が歌ったように、日本の神社仏閣がまさにそうではないでしょうか？）。しかし、このキリストの再臨の時には、もはやそんな狭く特殊な聖域は全く必要ないことが今日の“神の都”の描写から分かるのです。

まず、この“都”には「十二の門がある」のです。入りたいと願う人はどんな人種でも、誰でも入れるということです。

また今日の箇所では、この都の“形と大きさ”を天使がわざわざ「金の物差しを持って」来て「物差しで測った」のでした。すると「この都は四角い形で」「長さも幅も高さも同じ、一万二千スタディオンあった」のでした。このスタディオンという長さの単位は、当時の競技場（スタディアム）の中に設けられた選手が走るトラック（今は１周４００メートルと決められていますが、当時は直線だけでした）の距離１８５メートルの長さです。従って、１２０００スタディオンは、２２２０キロメートルになります。これはほぼ、地球の円周（約４万キロ）の２０分の１に当たる距離です。例えば、北海道から九州に達する距離、ロンドンからワシントンまでの距離などです。しかも横も同じ長さですから、それこそ日本の本州や大西洋をすっぽり収めてしまうほどの面積を持つ“都”ということになります。しかも、高さも同じとあるのですから、大気圏をはるかに越える（宇宙ステーションがあるのは地上４００キロ）高さをもつ、本当に大きな体積を持っているということになります。これは、当時の世界観から言えば、ほぼ世界を覆うほどの大きさと言い得るでしょう。

更に、この「都は透き通ったガラスのような純金であった」とも言われています。「透き通っている」ということは、外から中を簡単に見ることが出来るということです。もはや隠れた、誰にも見られない聖域ではないのです。

そして、最後の時の“都の姿”を最も象徴している言葉が22節の「わたしは、都の中に神殿を見なかった。全能者である神、主と小羊とが都の神殿だからである」です。この都の中では、いつでも、どこでも、神様とイエス様とに直接、お会いすることが出来るという意味です。そこには何の特別な資格や準備も必要ないということでしょう。特に神殿がないということは、神様やイエス様に出会うための儀式や作法などもはや一切必要がないという意味です。

以上のように、キリストが再びこの地上に来られる時にはもはやかつてのような奥まった特殊な聖域は無くなることを示しています。神様が居られる場所を必死に人から離して、隠す必要はなくなるのです。言い方を変えれば、キリストの再臨以後の世界では、もはや聖と俗との区別がなくなってしまうと言ってよいでしょう。それは、この都での住民の生活や営みのすべてが聖なるものとされると言い得るのです。神様とイエス様と一緒に生きることが、もはや何の特別なことでもなくなり、日常が恵みと祝福にあふれるのですね！

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

◉聖書研究・祈祷会 Ⅰ.
Ⅱ.
休　会

【教勢報告】

主日礼拝	無会衆
祈祷会 Ⅰ.	休　会
祈祷会 Ⅱ.	休　会
日曜学校	休　校

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【次週礼拝】　９月　５日（日）

聖　書：　詩　編　１６：８～１１
ヨハネの黙示録　２１：２２～２２：５

説　教：「黙示録６５ ― 都の光の中を歩き」
武田 真治 牧師

讃美歌：　２０５、３２、２８９、３９４、２７

【次週当番表】

司式：金刺長老　奏楽:羽倉長老　礼拝:金刺長老
献金：長老　　受付：長老
会堂準備：浅井　阿部　金刺　齋藤
山田

【次週集会予定】

・会堂管理委員会　　・長老会

６２－３５

週　報

2021年度　教会標語

「信仰に支えられて、共に生きよう！」

２０２１年　８月　２９日

日本キリスト教団　**上尾合同教会**

牧　師　　武田　真治

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33
TEL＆FAX　048－771－6549
http://www.ageo-church.org/